

夢タウン まつぶし

# 議会だより

第115号

令和3年10月27日発行

## 9月定例会

- 令和2年度決算 …………… 2・3P
- 議案審議・補正予算 …………… 4P
- 意見書 …………… 5P
- 10人の議員が町政を問う …… 6～11P
- 委員会報告 …………… 11P

松伏町子ども見守り隊によるパトロール

# 令和2年度 一般会計歳出決算額 「笑顔が未来に広がる緑あ

令和2年度一般会計決算は、歳入総額126億2,413万2,000円、歳出総額5億8,862万4,000円となった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡  
コロナ感染症対策関連の国・県の交付金・補助金が34億円あり、それに伴う支

## 評価

### ●コロナ関連

町内公共施設・教育関連施設・社会福祉施設等への感染症対策  
社会福祉施設等への PCR 検査実施  
中小企業等応援クーポン事業、プレミアム付商品券事業



県営まつぶし緑の丘公園内に  
「すくすくひろば」開設



地域活性化の応援クーポンの配布

- 県営まつぶし緑の丘公園内に「すくすくひろば」の新設
- 小中学校への校内 LAN 整備及び児童生徒 1 人 1 台のタブレット端末機購入
- 児童館「ちびっこランド」の空調設備の改修工事
- 高齢者福祉タクシー利用に新たに路線バスを選択できるように助成制度を改正
- 松伏ふるさとカレースタンプラリーを前年度より登録店を増やして実施
- 老朽化した中間処理場の仮設の受入施設を整備するとともに本体建屋の整備を実施
- 災害対策本部機能を有する防災倉庫の建設用地取得
- 松伏・田島地区産業団地整備事業では、3区画全ての進出企業の決定
- 地域防災計画の見直し
- 様々な障害を理解しサポートする人を育成する「あいサポート」事業の実施

# 118億9,818万円 **認定** 9月定例会

## ふれるみんなのまち」 9月1日から 9月24日

118億9,818万8,000円、差引き7億2,594万4,000円の残額。実質収支は、大・長期化が、私たちの生活様式や価値観まで広く社会全体で影響を与えた中、出が35億円の決算額となった。

### 課題

- 人口減少や高齢者人口の増加に伴い地方交付税が当初予算比で2億円増えるなど、実質収支は5億8,862万円になった。
- 充実すべき高齢者福祉政策・障がい者福祉政策と、そのための職員配置。
- 交通不便地域や交通弱者のための政策的な検討が進んでいない。
- 身近な生活道路や排水路基盤整備が遅れている。
- 道の駅事業の収支試算が出されたが、前面道路の交通量が推定値であることを含め、試算にはいつも問題点が指摘された。黒字運営は難しい。

#### 賛成討論：自民クラブ

地域防災計画を見直し、避難対策の充実や復旧・復興に対する強化が図られた。町民の消費喚起を図る応援クーポン券事業や、児童・生徒の学習環境の充実を図るGIGAスクール事業など、様々な新型コロナウイルス対策事業が行われたことを評価する。道の駅事業は、慎重に引き続き推進していただきたい。

#### 賛成討論：未来クラブ

スマートフォン決済の導入で納税機会の拡大と利便性向上を図り、効率的な徴収事務に努めた。実質公債費比率が前年度7.2%から6.3%に改善し、将来負担比率も21.8%から17.3%に改善し、高く評価できる。

#### 賛成討論：公明党

災害対策備蓄品について、コロナ禍を踏まえ生理用品を町内各校に配布し、食料品を配布した。公共施設感染症対策の改修工事で、トイレの洋式化、自動水洗化を進めている。成人祝賀事業では、緊急事態宣言のなか、工夫を凝らして70%を超える新成人の参加があったことも評価できる。

#### 反対討論：日本共産党

人口減少や高齢者人口の増加に伴い「町財政が厳しい」と予算がつかない状況が目立つが、決算では5億8,862万円の黒字である。在宅介護の用品支給事業は対象者が限定されており、細やかな対応がとられていない。交通不便対策は、町や町長に真剣な政策的検討をする姿勢がないように思う。

人事

松伏町教育委員会委員の任命

會田 隆 氏 (新任) (任期 令和3年10月1日～令和7年9月30日)

松伏町公平委員会委員の選任

滝上 秀人 氏 (新任) (任期 令和3年10月1日～令和7年9月30日)

主な議案

令和3年度松伏町一般会計補正予算

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第3号)

5億532万円

【主な歳入】

国庫支出金 5,946万円  
繰越金 4億4,862万円

【主な歳出】

総務費 2億8,950万円  
衛生費 6,528万円  
消防費 8,304万円

○主な質疑

- 問 役場北側に購入した土地に防災倉庫を建築するが、防災倉庫整備工事費として、なぜ補正予算を組まなければならないのか。
- 答 役場及び周辺の地盤が脆弱であり、防災倉庫を建設するにあたり、防災センターとしての運用に備え、将来的には現在庁舎地下にある電源設備を移転し、水害にも対応できる強固な施設とするため地盤強化の必要性が生じた。
- 問 新型コロナワクチン接種事業の委託料の内容説明を。
- 答 現在の新型コロナワクチン接種事業は、令和3年9月までの予算により実施されており、10月～令和4年2月28日まで継続されることから予算化した。

令和3年度松伏町一般会計補正予算 (第4号)

2,508万円

【歳入】

国庫支出金 2,508万円

【歳出】

公共交通事業者補助金 702万円  
自宅療養者食糧支援委託料 106万円  
農業者支援金 1,200万円  
中小企業等支援金 500万円

○主な質疑

- 問 新型コロナ感染者の自宅療養者への食糧支援事業について。
- 答 自宅療養者になった方に対して、本来であれば県が食糧支援を行っていくものだが、新規感染者が急増した際に、町としても食糧支援を行っていくものである。

**意見書**

(一部省略)

**■コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書**

**可決**

新型コロナウイルスの感染拡大は、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしている。この中で、地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされている。社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。固定資産税等に係る特例措置は、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする事。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

**■出産育児一時金の増額を求める意見書**

**可決**

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせません。

よって、政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求めます。

**■消費税インボイス制度の中止・見直しを求める意見書**

**否決**

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

主な議案の採決 (9月定例会)	議員名													
	佐藤 永子(自)	長谷川 真也(未)	松岡 高志(未)	福井 和義(無)	田口 義博(自)	高橋 昭男(自)	増田 秀雄(未)	川上 力(公)	吉田 俊一(共)	砂川 清時(自)	高野 祐大(チ)	村上 真由美(公)	平野 千穂(共)	
松伏町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
松伏町公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度松伏町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度松伏町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和2年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和2年度松伏町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
令和2年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●
<b>&lt; 意見書 &gt;</b>														
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
出産育児一時金の増額を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税インボイス制度の中止・見直しを求める意見書	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	◎

(○=賛成、●=反対、退=退席、◎=提出者)

(会派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、無=無所属クラブ、チ=チェンジ松伏

## 町政に関する

### 一般質問の主題

#### 福井 和義

- 水害に強い町づくりについて
- 安全な通学路について

#### 村上 真由美

- 防災備蓄品に災害用オストメイト専用トイレを
- 松伏町における産婦健康診査事業の実施
- 障がい児（者）生活サポート事業の導入
- 教育の充実

#### 川上 カ

- 特色と魅力ある町興し戦略
- マイナンバーカードの普及推進
- 相談業務の機会拡充

#### 増田 秀雄

- スポーツ・文化事業の推進について
- 予算配分の考え方について
- 子ども医療費の現物給付化について

#### 砂川 清時

- 松伏町第5次総合振興計画について

一般質問の会議録全文は  
町のホームページから検索できます

#### 松岡 高志

- 町道の維持管理にSNSを活用した通報システムの導入を
- 新ハザードマップで災害に強い地域づくりを

#### 平野 千穂

- 介護保険利用料の負担軽減をせよ
- 子どもの人権やジェンダー平等の視点での校則見直しを
- 通学路の調査をおこない安全対策をせよ

#### 吉田 俊一

- 大雨災害にそなえる河川や排水路の適切な管理、改修について
- ハザードマップと連動した大雨災害に対する情報の公表と判断基準について
- 社会教育主事の資格をもつ職員の養成が必要ではないか

#### 高野 祐大

- 新型コロナウイルス感染症への町の対応について
- バス交通と道の駅のバスターミナルについて

#### 田口 義博

- 環境保全対策について

## 10人の議員が町政を問う



### ふくい かずよし 福井 和義 (無所属クラブ)

**Q** 危険な通学路は何か所あるのか

**A** 小中学校合わせて43か所ある

**問** 千葉県八街市で小学生の列にトラックが突っ込み児童5人が死傷する事故があった。松伏町でも事故の危険がある通学路は多数ある。各学校の危険箇所は何か所あるのか。

**答** 教育総務課長 松小15か所、金小5か所、二小11か所、松中8か所、二中4か所、合計43か所ある。

**問** 危険度の高い場所の1つに町道3号線がある。自転車店から広域農道の金杉小学校入り口までは、7時30分から8時30分まで、車進入禁止になっている。下校時も車進入禁止にできないか。また、3号線は30kmの速度規制になっているので、スピード違反の取り締りもできないか。

**答** 教育総務課長 学年の下校時間が違うので難しい。また、スピード違反の取り締りは令和2年度に実施した。今後も吉川警察署に依頼する予定。

**問** 町道3号線の拡幅工事の完成はいつか。

**答** まちづくり整備課長 4年度末を予定している。

**問** 水害に強い町づくりについて。九州では、大雨で河川が氾濫し大被害になった。松伏町でも、平成27年、台風18号の大雨により床上床下浸水、約320棟あった。7月に全戸配布された江戸川ハザードマップで想定される浸水状況の信頼度は。

**答** 総務課長 江戸川洪水ハザードマップは、国や県の公表を基に作成したので信頼できる。



町道3号線は30kmの速度規制



むらかみ まゆみ  
**村上 真由美** (公明党)

**Q** 備蓄品にオストメイト用トイレを

**A** 今後、必要性も含め検討する

**問** オストメイトの方たちは突然のトイレを必要とし、その処理時間も長くなる。そのため、災害時ではトラブルとなる場合がある。トラブルを未然に防ぐためにも組み立て式の災害用オストメイト専用トイレが必要だ。町の考えを聞く。

**答** **総務課長** 「災害用オストメイト専用トイレ」については、現在、防災備蓄品として準備していないが、今後、必要性も含め検討していく。

**問** 現在町では、障がい児（者）の支援として、短期保護委託や期間を限定して移動支援のサービスを行っている。制度を見直し生活サポート事業を導入する考えについて聞く。

**答** **いきいき福祉課長** 既存制度の利用者に不利益がないような円滑な移行方法や財源の確保等について精査を行ったうえで、今後「生活サポート事業」の導入に向けて検討していく。

**問** 文部科学省は令和3年6月8日付けで全国の教育委員会に校則の見直しをするよう通知をした。校則の見直しの際には、学校、児童生徒、保護者が

協議しながら決めていく事が望ましいと思うが町の考えを聞く。

**答** **教育総務課長** 児童生徒や保護者の意見も取り入れながら、見直しを進めていき、児童生徒が自らの学校における生活をよりよくするために守ろうと思える校則になるよう各校へ支援していく。



災害用オストメイト専用トイレ



かわかみ つとむ  
**川上 力** (公明党)

**Q** 「まつぶしカレーの日」の制定を

**A** カレーのまち推進会議で協議する

**問** 松伏町は日本で初めて純国産カレー粉を製造した方の出身地であり、カレーのふるさとといえる町である。知名度向上にカレーの日を制定しては。

**答** **環境経済課長** 関係企業の意向も確認し、カレーのまち推進会議で事業内容の一つとして協議する。

**問** 地域再生と若者定住と事業継続も視野に入れた奨学金返還支援制度の導入をしてはどうか。

**答** **町長** 制度の導入は、実施自治体の状況や実情などを見て調査研究していく。

**問** デジタル時代のパスポートであるマイナンバーカード普及に住民票などのコンビニ交付の導入を。

**答** **住民ほけん課長** 住民要望の高まりは感じており、国の財政支援やマイナンバーカードの普及状況を見据え、引き続きコンビニ交付の導入を検討する。

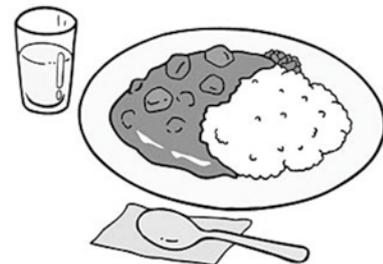
**問** マイナポイント事業を実施するとともに広域的な取り組みで魅力アップを図ってはどうか。

**答** **企画財政課長** 広域的に自治体マイナポイント制度を運用することで、住民や事業者にメリットが発生し、マイナンバーカードの普及を促すことが

できる。5市1町で集まる機会で見聞を出していく。

**問** 高齢化が進む中で介護認定者も増加し続けている。介護の相談にあたる地域包括支援センターの相談業務を日曜日でも行うなど改善はできないのか。

**答** **いきいき福祉課長** 日曜・祝日の相談業務は、需要に合わせた対応ができる体制を整えていきたい。







まつおか たかし  
**松岡 高志** (未来クラブ)

**Q** 道路修繕要望にSNSの活用を

**A** 導入には慎重な調査研究を要する

**問** 鎌倉市ではLINEを活用した道路損傷等の通報システムの運用を始めた。町での導入の考えは。

**答** まちづくり整備課長 鎌倉市では、今年の5月よりLINEを活用し、道路の損傷箇所などを気軽に通報できる道路損傷等通報システムを本格的に運用している。このシステムは、スマートフォンの写真撮影機能と位置情報計測システム機能を利用して通報することができ、迅速な補修に役立つこととしている。SNSを活用し、町民等が気軽に行政と接点を持ち、まちづくりへの意識を持っていただくことは、大変望ましいことと考える。また、限られた職員の中で、常時町内の道路損傷等を確認することは、非常に困難な状況にあることから、道路の状況を把握する手段としては、有効な手段とも考えている。システム導入については、職員の負担軽減につながるかどうかも含め、慎重に調査・研究する必要があると考えている。

**問** 新ハザードマップの効果を十分発揮できるように、新しく建設する防災倉庫の会議室を活用できない

か。

**答** 町長 防災倉庫の2階の会議室は、災害時における町の中心的拠点として、災害対応での活用方法が大前提であると考えている。その次に、町民の皆様に対する防災教育及び啓発の拠点とするなどの有効な利活用があるものとして考えている。



松伏町新防災倉庫のイメージ



ひらの ちほ  
**平野 千穂** (日本共産党)

**Q** 他市の多くは毎年通学路点検実施

**A** 町独自では未実施、今後検討する

**問** 千葉県八街市での下校中の児童の事故を受け、文科省は、小学校・PTA・道路管理者・警察が合同で通学路を点検するよう通達している。調査は行ったのか。調査結果による、通学路変更の検討、安全対策の整備スケジュールを問う。

**答** 教育総務課長 埼玉県は、およそ5年毎に学校と保護者で通学路安全総点検を実施しており、今年は調査年度。各小中学校で通学路の調査を実施し、危険箇所を県へ報告した。通学路の変更は、各学校が実情に応じ随時行っており、金杉小学校は保護者からの要望があり今年度一部変更した。

**答** まちづくり整備課長 危険箇所は43か所。そのうち、町が対応する箇所は23か所。令和4年度から5か年の通学路整備計画を策定し対応するが、予算内で出来るものは今年度中に実施したい。

**問** ①今年8月から、施設入所者で年金等120万円超の人は食費負担額が月額約2万2,000円増額。ショートステイでは、年金等80万円以下の人でも1日390円が600円へ引上げとなった。対象者は、

②県内63市町村のうち41市町村が介護サービス利用料の一部軽減をしている。実施できないか。

**答** いきいき福祉課長 ①食費負担増額の方は63人、資産要件により限度額認定申請が却下となった方は12人。②低所得者への介護サービスの軽減は、町の財政等を勘案し慎重に検討していく。





よしだ しゅんいち  
**吉田 俊一**（日本共産党）

**Q** 大雨に備える河川整備の要請を

**A** 県の予算編成に向け要望を準備

**問** 町内の排水路の流末となっている大落古利根川や中川の、土砂のしゅんせつや、雑木の伐採について、関係する国や県に対して要請をしているのか。

**答** **まちづくり整備課長** 大落古利根川の河道内の土砂のしゅんせつ、雑木の伐採については、埼玉県への令和4年度の予算・施策への要望活動として、宮代町・杉戸町・松伏町の共通要望として埼玉町村会から埼玉県町村会を経由し、要望をしていただけよう準備をしている。中川については同様の準備はしていない。

**問** 令和3年度には河川の整備が計画されているのか。

**答** **まちづくり整備課長** 大落古利根川では、令和2年度に伐採工事が実施され、令和3年度の予定はないと聞いている。土砂のしゅんせつは、古利根堰の改修にともない、堰周辺のしゅんせつを実施すると伺っている。中川は田島橋から旭橋の間600mの区間においては、護岸工事の設計が行なわれるとのこと。

**社会教育主事の養成を**

**問** 職員の資格取得の状況は。

**答** **教育文化振興課長** 課内では1名が資格取得している。資格取得の呼びかけは、現段階では行っていない。社会教育法で社会教育主事を置くことになっており、資格取得の機会提供に努めていく。



寿橋下流（大落古利根川）で実施された土砂のしゅんせつ。2019-2020年度。



たかの まさひろ  
**高野 祐大**（チェンジ松伏）

**Q** 町内の救急搬送困難事案は

**A** 全国で増えている

**問** 全国で患者の搬送先がすぐに決まらない、救急搬送困難事案が増加している。町として、町内の救急体制についてどのように評価しているのか。

**答** **すこやか子育て課長** 埼玉県の救急医療体制につきましては、初期救急、二次救急、三次救急等、必要な医療に応じた救急体制が整備されている。コロナウイルス感染症の対応としては、町では保健センター内にコールセンターを設置している。

**問** コロナ感染症の拡大の中で、町内に限った救急体制というところで、救急搬送困難事案は。

**答** **すこやか子育て課長** 総務省で発表している、全国の52の消防本部の統計によると、集計期間が8月23日から8月29日までの1週間で、全国で搬送困難事案件数が3,153件、これは前年の同時期に比べるとプラス121%、議員ご指摘のように救急搬送困難事案は増えている。

**問** 消防は自治体の事務である。吉川松伏消防組合に負担金を出している状況。町は知らないというのは、話が短絡的過ぎる。町として、町内の救急搬

送困難事案を把握しようと努めた経過はないのか。

**答** **すこやか子育て課長** 町内においては、約15件程度の救急搬送困難事案、これは緊急事態宣言発令以降の数字である。うち、コロナ疑いがある方が11件、その他で4件という形で報告は受けているところ。

事務の共同処理の現況と課題

事務の共同処理の現況と課題	
一部事務組合	
現況	○法人格を有するため、財産の保有が可能 ○固有の執行機関を有するため、責任の所在が明確
課題	○構成団体が増加するほど、機動的な意思決定が難しい ○構成団体の議会の直接の審議の対象にはならない

出典：総務省「地方公共団体における事務の共同処理の改革に関する研究会報告書」  
([https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000051522.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000051522.pdf))



たぐち よしひろ  
**田口 義博** (自民クラブ)

**Q** 枝や草の繁茂が原因となる苦情は

**A** 適切な町道等の管理に繋げていく

**問** 町道沿いの枝や草の繁茂が原因となる苦情の実態はどの様になっているか。

**答** まちづくり整備課長 例年苦情要望は受けている。速やかに原因者に出向き指導するも、連絡等が取れず直接指導できない方（4件）に文書指導した。

**問** 所有者等が拒んで解決に至らないケースはあるか。不良状態の解消に、勧告や必要な処置を発令したことはあるか。

**答** 環境経済課長 道路沿いに限らず、農地を含め年間100件程度ある。すべてに解決するわけではなく、継続的に対応行なっている。勧告や発令といった手続きは、ここ数年はない。

**問** 解決に大きな声を上げて改善には至らず、条例を上手に使うべきだ。町内の一斉点検をしてはどうか。

**答** まちづくり整備課長 町内の一斉点検は職員体制上実施することは困難。外へ出る際はパトロールを兼ねて道路状況を把握するよう努めている。通学路は、7月に学校関係者が中心となって通学

**問** 路安全総点検を実施した。自治会から情報提供を。住民の声として、机に向かっていただけでは町の様子が見えてこない。危険個所を危険個所と思わない状態が続いているのではないかと、話す。

**答** 町長 道路の小さな穴でも早く関係課に伝え、改善を図る。心地よい生活空間の町にしたい。



(築地地内) 草で繁茂した町道

## 文教民生常任委員会 所管事務調査報告

### 新型コロナウイルスワクチン接種の現状と今後の予定について(65歳以下の接種)

文教民生常任委員会は、8月3日、ワクチン接種推進本部と第二委員会室において下記の事項について調査した。

- ① ワクチン供給量が減少の報道があるが、今後の接種スケジュールに問題がないか。
- ② ワクチン接種の副反応の発生状況。
- ③ 大規模接種や職域接種を受けた方について、町はどの様に把握するのか。
- ④ 12歳以上の児童生徒の接種時期。
- ⑤ 若年層への接種について。
- ⑥ 介護を受けている方や障がいがある方で接種会場に行くことが困難な町民への対応。
- ⑦ ワクチン接種業務に従事している職員の健康状態と現時点での課題。
- ⑧ ワクチン2回接種終了後、追加接種の必要性和町の方針。





**傍聴者の声**

(抜粋です)

- 町の介護予防として、いきいき体操、ご近所さん体操、マッピーが3本柱と聞いている。これにウォーキングが加われば万全と言える。休止中のノルディックウォーキングの早期再開を望む。
- 新型コロナウイルス感染症5波も新規件数は減少して来ている。コロナ禍 vs 社会活動の両立も重要。行動緩和も慎重かつ段階的に進めて頂きたい。
- 公有財産購入費について、役場隣接地を購入との説明。次の機会に計画中の道の駅の防災機能付加との関係や概要説明を求む。

9月議会・傍聴者数			
9月1日	2名	9月13日	1名
9月3日	5名	9月15日	1名
9月6日	8名	9月16日	1名
9月7日	4名	9月21日	1名
9月9日	1名	9月24日	1名
合計		25名	



松伏町新中間処理場 (ストックヤード・工場棟外観)  
(令和3年9月現在)



東京2020パラリンピック聖火ビジット  
8月19日に役場ロビーに展示

**【編集後記】 村上 真由美**

今年の夏は、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

コロナ禍で様々な事を乗り越えての開催となりましたが、選手の活躍に勇気と希望と感動をもらいました。パラリンピックの理念である「共生社会」をめざした取り組みも進んでいきます。私達も「心のバリアフリー」で誰もが支えあえる社会を築いていきたと思います。

私達の生活も我慢の日々が続いています。希望の未来が訪れる日まで頑張りましょう。

- 議長 増田 等
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 田口 義博
- 副委員長 長谷川 真也
- 委員 平野 千穂
- 委員 増田 秀雄
- 委員 砂川 清時
- 委員 村上 真由美
- 委員 高野 祐大